

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	宜野湾港マリーナ	対象年度	平成30年度
------	----------	------	--------

【 目 次 】

I. 履行確認		
1. 維持管理業務	1
(1) 清掃		
(2) 保守・点検		
(3) 保安・警備		
(4) 小規模修繕		
(5) 備品購入		
(6) 防犯・防災対策		
(7) 料金徴収業務		
2. 運營業務	3
(1) 利用実績		
1) 収容数		
2) 付帯施設 利用率数		
(2) 運営企画		
(3) 受付・接客		
(4) 苦情・要望等		
(5) 広報		
(6) 情報管理		
3. 自主事業	5
II. サービスの質の評価	6
1. 維持管理業務		
2. 運營業務		
3. 自主事業		
4. 総合評価		
III. サービスの安定性評価(財務状況)	7
1. 事業収支		
(1) 収入		
(2) 支出		
2. 経営分析指標		
IV. 総合評価	9
1. 目標		
2. 評価結果		

※必要に応じて項目を追加・削除する。

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	宜野湾港マリーナ		対象年度	平成30年度
指定管理者	美ら島・宜野湾港マリーナ管理運営共同企業体 (構成員名:(株)アイランドボート、街クリーン(株) 指定期間:H30年4月～R5年3月		所管課	土木建築部 港湾課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
①管理棟、港内の清掃 ②緑地芝刈り等 ③海上係留、陸置保管 施設の定期清掃		○	事業計画のとおり 実施	現場及び業務報 告書にて確認	管理運営業務基 準に沿った内容で ある	宜野湾市シルバー人材に 外部委託し、適切に実施さ れている。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<日常点検> 機械の日常点検・月次 点検を実施	○		事業計画のとおり 実施	現場及び業務報 告書にて確認	管理運営業務基 準に沿った内容で ある	点検後、適切に実施簿に記録 している。
<定期点検> 電気保安、水質検査、 消防点検、クレーン等		○	事業計画のとおり 実施	現場及び業務報 告書にて確認	管理運営業務基 準に沿った内容で ある	専門機関に点検を実施させて いる。問題が生じた点は速やか に県と調整の上、対処してい る。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
常駐警備		○	事業計画のとおり 実施	現場及び業務報 告書にて確認	管理運営業務基 準に沿った内容で ある	艇へいたずら等が発生し、 警察に届けた事例がある。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
50万円以下の修繕		○	事業計画のとおり 実施	現場及び業務報 告書にて確認	管理運営業務基 準に沿った内容で ある	要修繕個所多数につき、優先 順位にて予算内で行う

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
クルーカード等消耗品 を含む	○		必要に応じた備 品の購入	現場及び業務報 告書にて確認	管理運営業務基 準に沿った内容で ある	業務上、必要なものを購入 した。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
巡回・防災訓練	○	○	事業計画のとおり実施	業務報告書にて確認	管理運営業務基準に沿った内容である	警備による定期巡回、マリーナ利用者参加の避難訓練や、消火訓練を行った。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
窓口業務	○		事業計画のとおり実施	現場及び業務報告書にて確認	管理運営業務基準に沿った内容である	遅延なく、県に納入した。

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加・削除して記入して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

1. 維持管理業務 取組改善案	①海上バースの浮き桟橋に使用されている鋼材の腐食が進んでいたり、給電ポストの老朽化が多々見られるので、桟橋全体をコンサル会社に調査していただき、計画的に修繕予算の確保をする時期に来ていると考えます。②水道料金、電気料金を受益者負担で徴収できるシステムの構築が必要と考えます。
--------------------	---

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(H30年度)の主な取組改善案を記入してください。

2. 運営業務

(1) 利用実績

① 収容数

整合性の検証

海上係留(契約艇・外来艇)		H29年度実績	事業計画 (目標値)	H30年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
収容数 342	4月末時点	299	310	320	107%	103%	利用希望者は多いが、バースの空きがない
	9月末時点	308	320	321	104%	100%	
	3月末時点	318	310	323	102%	104%	
	平均値	308	313	321	104%	103%	-

評価(①利用状況)	A
-----------	---

陸置場(契約艇・外来艇)		H29年度実績	事業計画 (目標値)	H30年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
収容数 292	4月末時点	173	200	203	117%	102%	利用希望者は多いが、バースの空きがない。 ※H30. 4より水上バイクの収容数をカウント。
	9月末時点	180	200	237	132%	119%	
	3月末時点	185	200	239	129%	120%	
	平均値	179	200	226	126%	113%	-

評価(①利用状況)	S
-----------	---

【評価基準(①利用状況)】
 目標値に対する達成率
 S : 110%以上
 A : 100%以上、110%未満
 B : 80%以上、100%未満
 C : 80%未満

② 付帯施設 利用率数 ※実績値は年度内総数

		H29年度実績	事業計画 (目標値)	H30年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
					前年比	計画比	
付帯施設	クレーン	1079	1100	1269	118%	115%	15tクレーンは老朽化が進んでいる。
	船用台車	420	500	615	146%	123%	需要が多く、供給が間に合わない。
	艇庫	56	60	61	109%	102%	シャッターを修繕した。
	研修室	397	200	21	5%	11%	エアコンがついていないので、利用率に応じて検討する。
	計	1952	1860	1966	101%	106%	-

評価(①利用状況)	A
-----------	---

【評価基準(①利用状況)】
 目標値に対する達成率
 S : 110%以上
 A : 100%以上、110%未満
 B : 80%以上、100%未満
 C : 80%未満

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開港日数〉 休港日は火曜日と12/29～1/3	県条例に基づく 開港日とする	業務報告書にて 確認	整合	当該項目は管理事務所の営業時間・ 日であり、契約艇及びオーナーのマ リーナへの入出港は年中自由となっ ている。 ※外来艇は一部制限あり。
〈開港時間〉 4～10月は、8時から18時30分 11月～3月は、9時から17時	県条例に基づく 開港時間とする	業務報告書にて 確認	整合	

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
利用の平等性、公 平性、守秘義務を 確保した適切な サービス	○		事業計画のとおり 実施	現場及び業務報 告書にて確認	整合	前納を基本として、申し込み手続 きを徹底している。利用希望者 には希望申請書を記入させ、ウェ ィティングリストに記載している。

(4) 苦情・要望等

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
アンケートの実施 や、オーナーズ ミーティングの開催	○		事業計画のとおり 実施	アンケートは県と 共同で作成し、提 出先は県とした。	整合	関心が高いと思われる点をまとめて、 利用者にアンケートを行った。これ をもとに、今後の運営に生かしたい。

(5) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
ジャパンマリーナア ライアンス会員と してボートショーに出 店、各ボート、ヨット 雑誌に広告を掲載	○		事業計画のとおり 実施	業務報告書にて 確認	整合	今年度もボートショーに出展し、宜野 湾港マリーナの情報発信を行った。 それに伴い新しいパンフレットも作成 して配布した。

(6) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
適切な個人情報取 扱の徹底	○		事業計画のとおり 実施	業務報告書にて 確認	整合	個人情報の扱いには万全を期してい るが、万が一にも対応できるよう、情 報漏洩保険にも加入した。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
燃料販売	○		船舶への給油業務	現場及び業務報告書にて確認	整合	燃料代を安くして販売促進に努めている。
レンタルコンテナ	○		船具置き等のためのレンタル業務	現場及び業務報告書にて確認	整合	需要が高いため、増設を検討している。
ボート移動サービス	○		利便性向上事業	業務報告書にて確認	整合	人件費の上昇に伴い、外来艇の利用料も値上げをしている。
高圧洗浄機レンタル	○		船体洗浄のためのレンタル業務	業務報告書にて確認	整合	現状維持
自動販売機	○		事業計画のとおり実施	現場及び業務報告書にて確認	整合	現状維持
物販	○		事業計画のとおり実施	現場及び業務報告書にて確認	整合	オリジナルタオルや、シャンプー、ロープなどの小物の販売を検討中。
BBQ施設の運営	○		事業計画のとおり実施	現場及び業務報告書にて確認	整合	テーブル、コンロ、テント等をリニューアルした拡充を検討中。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	第2期指定管理期間の初年度であったが、過去3年の経験を踏まえ徐々に業務の改善を進めたい。具体的には、第1期は環境美化に注力したが、今後は施設利用のルール徹底と優先度に応じた施設修繕に取り組む。また、利用者の増加に伴い、利便性を向上させる各種自主事業の拡充にも注力したい。
-----------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(H30年度年度)の主な取組改善案を記入

II. サービスの質の評価

評価項目		第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題
		H29年度評価	目標	H30年度評価		
維持 管理 業務	施設・設備 管理	〈満足度〉 80点	〈満足度〉 80点	〈満足度〉85点	A	修繕費を投入して悪い部分はどうも修繕している。しかし海上バースの部分は、老朽化が著しく修繕箇所が後を絶たない。
				〈改善要望〉 給電ポストの整備をしてほしい。コンセントが足りない。街灯をつけてほしい。契約の更新を簡素化して欲しい。陸上バースのコンクリートの割れ目を直してほしい。航路ブイを増設してほしい。		
運営 業務	接客対応	〈満足度〉 70点	〈満足度〉 85点	〈満足度〉80点	A	窓口での接客業務の職員を1名から3名に増やして対応している。船の上下架もなるべく効率よくできるように対応しているが、艇数が増えているので何らかの対応策が必要と考える。
	苦情等対応	〈満足度〉 80点	〈満足度〉 90点	〈満足度〉85点	A	苦情が出た場合はすぐに事実確認を行い対応している。なるべく苦情はないほうが良いが、利用者の声を拾いやすい環境を創りたい。
	施設・設備	〈満足度〉 90点	〈満足度〉 80点	〈満足度〉80点	A	全体的に塩害や、老朽化が進んでいる。修繕費も予算以上になってしまい、経営を圧迫している。
	利用・契約 条件	〈満足度〉 90点	〈満足度〉 90点	〈満足度〉80点	A	余裕をもって契約更新ができるよう、約1ヶ月前には申請するよう手続方法を見直した。バースの引継ぎ等ができない旨を改めて周知し、ルール厳守を徹底した。
自主事業		〈満足度〉 85点	〈満足度〉 90点	〈満足度〉80点	A	全体的には増加しており、給油販売による要因が大きい。
総合評価 (各評価項目の 平均)		〈満足度〉 82.5点	〈満足度〉 85点	〈満足度〉83.3点 以前より、施設内の 環境はだいぶ良くなっている。	評価 (②満足度) A	施設はほぼ満隻状態であり、日々多くの利用者が来所される。積極的に意見を受けるように心がけ、改善に取り組んでいる。

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

※1:満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段の割合、3段階評価の場合上位の割合)

ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度
S : 90%以上 A : 80%以上、90%未満
B : 70%以上、80%未満 C : 70%未満

II. サービスの質 の評価 取組改善案	平成30年度は2名の男性職員に育休を取得させ、子育て世代に配慮した働きやすい環境づくりに取り組んだ。これにより、事務所内は良い雰囲気業務に当たれる状態になってきている。しかし、利用者にとっては、職員の名前が覚えられないなどの不都合を生じたようが、働き方改革の推進であることを説明し、ご理解いただくよう努めた。今後も人の育つ職場環境を作り、お客様に笑顔でサービスを提供できるようにしたいと考える。
----------------------------	---

※「II. サービスの質の評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(H30年度年度)の主な取組改善案を記入してください。

Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

収入項目		H29年度実績	事業計画	H30年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	整合性の検証
使用料 収入 (県へ帰 属)	海上係留・陸置場	14,234,369	15,000,000	18,833,105	132%	126%	中部土木事務所測定分は除く
	揚降機	150,660	0	0	0%	#DIV/0!	H29年度末より使用不可
	クレーン	2,203,730	2,500,000	3,172,130	144%	127%	H29年度末より1基増設
	貸出用船台	751,360	800,000	1,261,840	168%	158%	需要増
	艇庫	689,310	700,000	757,620	110%	108%	—
	給水施設	190,880	200,000	183,680	96%	92%	—
	給電施設	252,400	250,000	350,600	139%	140%	—
	給油施設	1,777,150	1,700,000	1,598,338	90%	94%	—
	シャワー	411,680	430,000	536,640	130%	125%	—
	駐車場	19,977,600	20,000,000	22,397,100	112%	112%	イベントの増による
会議室	128,628	130,000	6,804	5%	5%	—	
計	40,767,767	41,710,000	49,097,857	120%	118%	—	
指定管理料(県)(A)		60,480,000	65,000,000	65,000,000	107%	100%	H30年度は1/5年目
修繕費用等(県)(B)		25,308,335	1,000,000	15,469,530	61%	1547%	台風被害復旧費等
自主事 業収入 (C)	燃料販売事業	23,012,654	18,000,000	39,995,796	174%	222%	—
	自販機、コンテナ、艇管理等	9,987,874	7,322,000	9,233,577	92%	126%	—
	その他(上下架作業等)	4,099,634	7,370,000	6,930,108	169%	94%	—
	計	37,100,162	32,692,000	56,159,481	151%	172%	—
合計(D=A~C)		122,888,497	98,692,000	136,629,011	111%	138%	—
〈現状分析・課題〉							
利用艇の増加に伴い、使用料収入及び自主事業収入は増加している。							

(2) 支出

支出項目	H29年度実績	事業計画	H30年度実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
人件費(給与、手当、法定福利費等)	28,036,444	24,434,000	31,331,319	112%	128%	臨時雇用等による増
賃金	4,348,160	5,226,000	6,056,692	139%	116%	—
旅費	211,154	920,000	87,180	41%	9%	—
需用費 (消耗品費、燃料費、印刷製本費、 光熱水費、雑費)	13,334,878	12,290,000	14,486,490	109%	118%	事務用品、駐車券、 シャボ・草刈機他燃料、 研修受講費等
役務費 (通信運搬費、保管料、広告費、手 数料、保険料、廃棄物処理費)	3,803,459	1,426,000	2,145,526	56%	150%	バンフ、HP掲載、賠償 保険、車両保険、振込 手数料等
委託料 (警備費、検査費)	10,548,654	13,560,000	13,837,540	131%	102%	常駐警備費、電気保安 管理、漏水調査等
使用料及び賃借料	812,592	600,000	175,553	22%	29%	—
備品購入費	0	1,500,000	655,838	#DIV/0!	44%	PC、プリンター無線等
修繕費	26,619,326	5,110,000	18,001,662	68%	352%	台風被害等
その他(租税公課等)	165,310	255,000	304,900	184%	120%	—
合計 (E)	87,879,977	65,321,000	87,082,700	99%	133%	—
〈現状分析・課題〉						
利用艇の増加に伴い、全体的な支出も増加している。						

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 経営分析指標

評価指標	H29年度実績	事業計画	H30年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支 (指定管理料(A)+修繕費等(B)-指定管理業務(E))	-2,091,642	679,000	-6,613,170	316%	-974%	光熱水費と修繕費が要因
収益率 (使用料収入/指定管理料(A))	67%	64%	76%	112%	118%	—
収入比率 (自主事業収入(C)/使用料収入)	91%	78%	114%	126%	146%	—
人件費比率 (人件費/指定管理業務(E))	37%	45%	43%	117%	95%	—
外部委託費比率 (外部委託費合計/指定管理業務(E))	12%	21%	16%	132%	77%	—
利用艇あたり管理コスト (指定管理料(A)/利用艇数)	133,470	131,846	118,830	89%	90%	利用艇の増加による

〈現状分析・課題〉

施設老朽化に伴う多くの修繕と、バースがほぼ満隻であることに伴う光熱水費の増加が経営を逼迫している。指定管理料の増額はできないこととなっているため、より一層の管理費の節減と、修繕については県と調整しながら対応していきたい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

評価(③財務状況)	B	【評価基準(③財務状況)】 収益率(事業収支/収入合計) A: 0%以上 B: -5%以上、0%未満 C: -5%未満
	-4.8%	

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	施設収容率の増加は好ましい反面、急激な利用艇増であることや、施設の経年劣化もあることから収入及び支出とも増加している。日常の管理運営業務を実施しながら、コスト削減を図る策も検討しなくてはならない。
----------------------------------	--

※「Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(H30年度年度)の主な取組改善案を記入してください。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入(指定管理料(A)+修繕費等(B)) - 支出(指定管理業務(E))	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	使用料収入/収入(指定管理料(A))	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
収入比率	自主事業収入(C)/使用料収入	指定管理者の自主事業収入額を確認するとともに、使用料収入に見合った率であるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出(指定管理業務(E))	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出(指定管理業務(E))	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用艇あたり管理コスト (自治体負担コスト)	収入(指定管理料)/利用艇数	利用艇1隻に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかり過ぎているかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	備考
成果指標 ①利用状況	利用艇数	550	550	560	560	緊急避難用に一定の空きスペースが必要であるため、現状でほぼ満隻である。
	②満足度	満足度	85%	85%	85%	85%
財務指標 ③財務状況	収益率	0.5%	0.5%	0.8%	0.8%	無理のない範囲での自主事業の展開を検討する。

2. 評価結果

評価項目	評価指標	H29年度実績	事業計画 (目標値)	H30年度実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	R1年度 目標値	
				前年比	計画比					
成果指標 ①利用状況	利用艇数	487	513	547	112%	107%	H29年度に陸置の水上バイクスペースのルール作りを行い、H30年度からカウントしたため大幅増となった。	A	施設はほぼ満隻であるため、現状の利用者や待機者に不利益とならないようルールの徹底を図り、必要時には厳しく対応していく。	550
	②満足度	満足度	82.5	85	83.3	101%	98%	500名近くの利用者へアンケートを送付し140ほど返信があった。様々な意見が寄せられたので今後の検討材料とする。	A	平成30年度は子育て世代に配慮した働きやすい環境づくりに取り組んだ。今後も人の育つ職場環境を作り、利用者に笑顔でサービスを提供できるようにしたい。
財務指標 ③財務状況	収益率	-1.6%	0.1%	-4.8%	295%	-7035%	指定管理料と自主事業に係る経費の振り分けが不十分である。	B	施設の経年劣化もあることから支出が増加している。コスト削減を図る策を検討しなくてはならない。	0.5%
活動指標 ④重点取組事項	施設内のルール・規則	水上バイクの陸置き区割り設定	—	未納者への督促、オーナー変更の禁止	—	—	一部の長期利用者による不適切なパース利用等が見受けられた。	S	県と指定管理者で連携し、公平公正な利用に向けたルールの徹底を図る。	観光艇との棲み分け等
総合評価							A			

※「現状分析・課題」「取組改善案」は6-I～IIIから転記する。

※「H30目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

- S : 110%以上
- A : 100%以上、110%未満
- B : 80%以上、100%未満
- C : 80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

- S : 90%以上
- A : 80%以上、90%未満
- B : 70%以上、80%未満
- C : 70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

- A : 0%以上
- B : -5%以上、0%未満
- C : -5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

- S : 目標を大きく上回る
- A : 目標を概ね達成
- B : 目標を下回る

【総合評価基準】

総合評価基準	
S	40点以上 <small>かつ各評価項目においてC評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

<各評価項目点数>

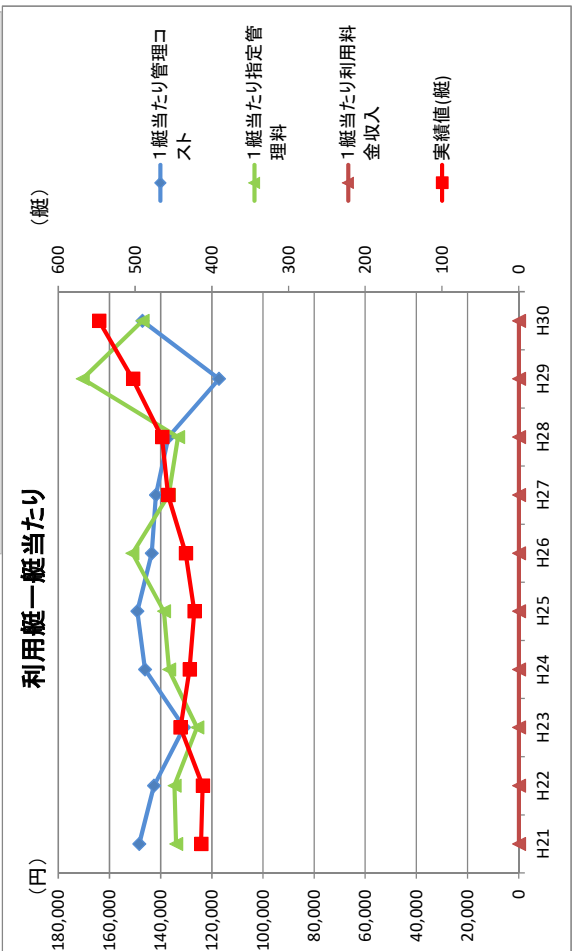
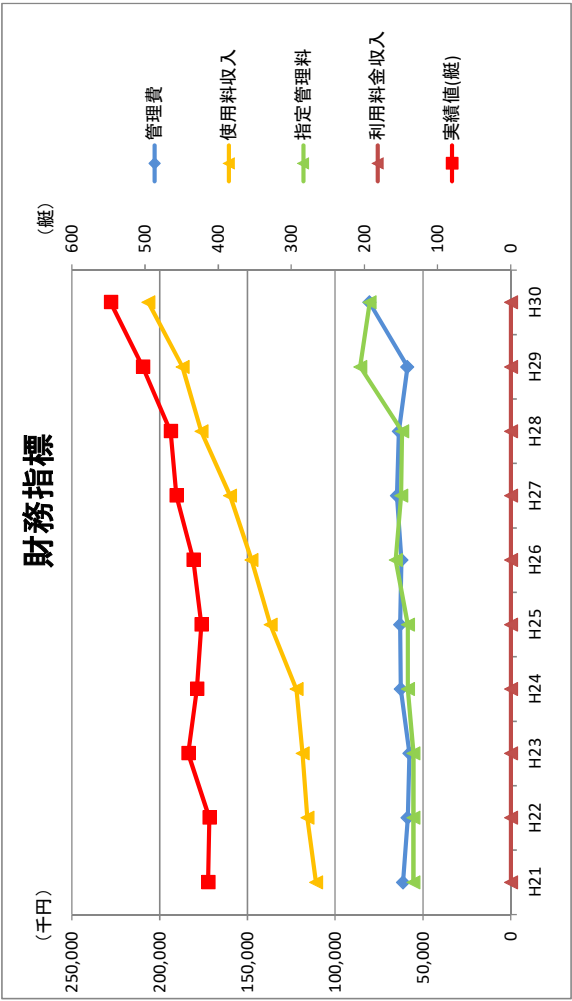
	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

施設名称：宜野湾港マリーナ

成果指標	指標		指定管理の開始はH18より																				
	単位		H20以前	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
利用者数	目標	艇	-	400	410	420	430	440	450	460	470	480	490	550	550	560	560	-	-	-	-	-	
	実績	艇	-	414	412	441	429	423	434	457	465	503	547	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
財務指標	目標比	%	-	104%	100%	105%	100%	96%	96%	99%	99%	105%	112%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	H21比	%	-	100%	100%	107%	104%	102%	105%	110%	110%	121%	132%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	指定管理料(十修繕費)	千円	-	55,466	55,466	55,466	58,677	58,677	65,562	62,560	61,939	85,788	80,470	65,000	65,000	65,000	65,000	65,999	-	-	-	-	
	県有指割合(指定管理料/管理費計)	%	-	90.3%	94.4%	96.1%	93.6%	93.0%	105.3%	96.5%	97.2%	145.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	-	
	利用料金収入	千円	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	利用料金比率(利用料金/収入計)	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	使用料収入(施設使用料)計	千円	-	110,919	115,976	118,591	122,091	136,944	147,738	159,946	176,297	187,091	206,436	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	管理費計	千円	-	61,429	58,770	57,725	62,668	63,094	62,259	64,818	63,725	58,928	80,470	65,000	65,000	65,000	65,000	65,999	-	-	-	-	-
	収支	千円	-	49,490	57,206	60,866	59,423	73,850	85,479	95,128	112,572	128,163	125,966	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収益率(収支/収入計)	%	-	44.6%	49.3%	51.3%	48.7%	53.9%	57.9%	59.5%	63.9%	68.5%	61.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
一艇あたり管理コスト	円	-	148,379	142,646	130,896	146,079	149,158	143,454	141,834	137,043	117,153	147,112	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
一艇あたり指定管理料	円	-	133,976	134,626	125,773	136,776	138,716	151,065	136,893	133,202	170,553	147,112	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
一艇あたり利用料金収入	円	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※施設毎に、経営状況を分析する上で必要となる指標の加除可

(備考)
単年度で見ると、指定管理料を上回る使用料収入と
なっているが、これらは全て施設整備(起債)の償還に
充てるものであり、償還にはまだまだ時間を要する。



特記事項 ※年度毎の変動について要因分析を記載

H30年度	海上係留(特に大型艇)はウェーティングが発生しており、ほとんど空きが出ない状態。
H29年度	条例改正により水上バイクが陸置きが可能となり、20数台の増があった。
H28年度	特になし
H27年度	特になし

目標設定の考え方

R1年度	※目標設定の根拠や考え方を記載 現状がほぼ満室であるため、上限を560程度に設定しこれまで同様の通増値で見込
R2年度	上記同様。
R3年度	上記同様。
R4年度	上記同様。